

DOYOU さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす



埼玉同友会第46回定時総会が4月20日(土)に開催され、228名が参加しました。来賓として上田清司・埼玉県知事をはじめ行政、金融機関からのご臨席をいただきました。今年度は、久賀きよ江氏が会長理事に、太田久年氏が引き続き代表理事として、2009年以來の1人代表制となりました。太田氏は「責任の大きさを感じるとともに、9名の副代表理事と協力して会員の経営を維持し、発展させたい」と語りました。

(詳細記事P2 ~)

2019年度 第46回定時総会

「人間尊重の経営」と「強靱な経営体質の企業」で豊かな地域づくりに貢献しよう

「影響力を持ち誇り高い経営者団体として仲間を迎え広げよう」

2019-6 June
VOL.496 毎月1日発行

特集

- ・2019年度第46回定時総会
- ・正副代表理事に聞く埼玉同友会2019年度活動方針
- ・2019年度委員長挨拶

<http://www.saitama.doyu.jp>

社長の
学校

2019年度 第46回定時総会

「人間尊重の経営」と「強靱な経営体質の企業」で豊かな地域づくりに貢献しよう

2019年4月20日(土) / 於: 新都心ビジネス交流プラザ



▲挨拶する太田代表理事

埼玉同友会は4月20日に第46回定時総会を開催し、228名が参加しました。

第1部は久賀きよ江・埼玉同友会代表理事が冒頭にあいさつしました。

次に、来賓として上田清司・埼玉県知事、千枝直人・さいたま市経済局長、

久世尚史・関東経済産業局産業部次長が参加し、それぞれあいさつしました。上田知事は日本と世界のGDPの動きや米系情報企業が世界を席巻しているなど世界情勢に触れながら、地域の中小企業の発展が経済成長につながることを話しました。

議案の検討では、基本方針の冒頭に会員増強へ向けた同友会の組織課題を初めて打ちだし、「県内法人企業数3%」「年間100名を超える増強」を目標としました。スローガンは「『人間尊重の経営』と『強靱な経営体質の企業』で豊かな地域づくりに貢献しよう」とあり、人を生かす経営の実践を通して地域に会員を増やしていくことを誓い合いました。

また、久賀きよ江氏が会長理事に、太田久年氏が引き続き代表理事として、2009年以來の1人代表制となりました。太田氏は「責任の大きさを感じるとともに、9名の副代表理事と協力して会員の経営を維持し、発展させたい」と話しました。



次に、役員退任者や会員拡大に貢献した特別功労賞の方々の表彰を行いました。また、事務局として30年間尽力した由田陽子氏の退職にあたり、感謝の気持ちを込めて花束と記念品を贈呈しました。

第2部の記念講演では、福岡同友会代表理事の田浦通氏(株)シティーライン代表取締役社長)が講演しました。(詳細は後述)

第3部懇親会では、他団体や金融機関からも参加があり、今年度開催予定の行事PRでも増強を意識するなど新たな年度のスタートを切りました。



【第2部】記念講演

孤独で戦う企業家よりもはるかに強い連帯をめざして

～1人でやるのが行動、チームでやるのが活動、地域を巻き込んでやるのが運動～

田浦 通氏(株)シティーライン代表取締役社長 福岡同友会代表理事)

自社の強みを生かして

弊社の事業は物流事業です。商品の運送や保管などを行っています。日本の国内輸送量は年間約50億トン。輸送手段としては陸運、海運、航空、鉄道が主ですがこのうち、91%はトラック輸送に於ける陸運です。輸送送業界の経済規模は25兆円で、企業数は62,000社。就業人口は250万人ですが、企業は大手と中小零細企業に2極化されているのが現状です。物流機能は3日も停止すると市民生活が成り立ちません。ですから、我々の仕事は水道や電気と同じように日本経済を支えるインフラであると自負しています。経営指針書にも「我が社の社会的使命」として記載し、社員の仕事の意義や誇りなどモチベーションを高める意識づけとなっ

ています。

中小企業は自社の強みをどう生かしていくかということが非常に大事かと思えます。弊社は大手と戦わない、よそがやらないことをやろうと掲げています。その一つが九州に特化することです。特に売りにしているものに「九関朝」というサービスがあります。これはBtoBでの扱いですが、関西地区からの最速便として、とても重宝がられています。また、仕分けするサービスや梱包を弊社で行うサービスなどもあり、コストや、手間などの面からニーズが高いです。80店舗のドラッグストアのバッグヤードに夜間専用の鍵を預かって、搬入しておくサービスもあり、いずれも、弊社ならではの付加価値と自負しております。

景気に左右されない業界に着目

このような取り組みに着手したのは今から15年前です。見積り競争にさらされ、売上単価が右肩下がり続き、今後の新しい戦略を模索している渦中にリーマンショックが起こりました。その時、弊社のみならず、輸送業界はどこでも大きな痛手をこうむりましたが、そのような中でも、売上が落ちていない業界があることに気がつきました。それは、医療業界でした。不況でも医療費は削ることができないわけで、だったら弊社もその医療業界に市場を拡大し

ていこうと思ったわけです。今では売り上げの35%をメディカル関連が占めるまでになりました。病院への患者さんの送迎サービスも、現在の契約病院数は5、6程度ですが、今後ニーズが増えていくと確信しています。将来的にはドローンやヘリコプターを使っの臓器輸送や緊急輸送へも着手し、さらに専門分野に特化してメディカル専門物流会社のパイオニア企業になると、社員ともビジョンを共有しています。

経営思考を持つ社員を育てる

同友会には社員教育委員会がありますが、ここにも社員を参加させて成長させていくことが大事だと考えます。あるコンサルタントの方がこんなことを言っていました。「これまでの経営は300メートル程度の高さの山登りで、社長一人で10人の社員を引っ張って行くこともできるが、これからの経営は8000メートル級の山を登っていくようなものだ」と。そうとうな準備をもって臨むしかない。しかも社員を連れてです。どうしたらいいか、それは社員を一人で登れるようにするしかないのです。幹部社員については、経営思考を持った社員に変えていくしかないと思います。

同友会で、情報を開示せよ、と教わりましたので、損益計算書や貸借対照表などを開示しました。ところが、当初、社員のリアクションが全くありませんでした。どうしてかと思ったら、彼らは数字の読み方がよく解らなかったのです。そこで、財務分析研修に6ヶ月通って、まず私が学びました。それをもとに、社内で私が講師となって講義し、実力テストをしました。点数で一番低いものが次回の問題を作るというルールを決めたら、その人が学べるようになって、最初は100点満点で5点ほどしか取れなかったものが、今ではほとんどの人が100点を取れるようになりました。また仕事の成果を数値で判断したり、数値で良い悪いを語れたりするようになり、数値に基づいた会議ができるようになりました。

やりがいの持てる、働きやすい職場に

毎年、共同求人て3名以上の新卒を採るようにして、その社員には新入社員研修を行って、常に会社の将来を考えて人材に気を配ってきたつもりでした。ところが、4年前、4月入社の新卒社員が3か月後には2名とも辞めてしまったのです。どうしてなのかと調べてみると、この時期は猫の手を借りたいほどの超繁忙期なのですが、入ったばかりの新人に長時間残業をさせたり、ろくに訓練もせず現場作業をやらせていたようで、折角夢と希望を持って来て来た社員を短期で辞めさせることになったことに、猛省しました。

そんな中、ある左官業の企業が『成長の認定式』というのを始めて、定着率を上げたという話を耳にし、さっそく取り入れることにしました。入社1年経った社員を、先輩社員から、あなたはこういうところが成長したと、表彰してもらう認定式なのですが、本人はもとより、お招きしたご両親や母校の先生方もとても喜び、感動的な式となります。今年で3回目となりますが回を重ね、いつしか定着率は100%になりました。

また、社員さんは5年後、10年後を不安に思うものだと思います。ですので、今後自分はどういうステップアップを図っていけるのか、社員育成プログラムに則り、何年後には係長・課長へ昇格で



きるなど昇格指針を作成、社員が自分の人生設計が明確に立てられるような仕組みを作っています。

求人に関しては、中小企業には、今後ますます人が来なくなります。弊社では働きたくても働けない子育て中のママがいるのではと考えますと、当時保育園や託児所が全国的に不足していることが社会問題になっていました。その方たちに弊社で働いてもらうためには、企業内に託児所をつくらばいいのではないかと考えました。丁度3年前に現在の新社屋計画をしていましたので、そこに託児所をつくり新たに5名のママさんを採用しお子さんと一緒に出勤して託児所に預けて職場に出勤して頂いています。現在地域枠を含めて11名の園児が在籍しています。

経営者が今後やるべきこと

日本のGDPはバブル崩壊からずっと横ばいの状況が続いています。一人当たりの所得も世界と比較して25位~29位程度です。アジアでも4位程度という状況です。なぜかと調べていくと、やはりIT化が遅れているということや人口減少などが起因していると思われます。生産性を上げていくためには、AI、IoTなどを活用していかないとはいけません。一方、消費を上げていくためには、政治が担う部分もありますが、我々も経営者としてやれることをやっていかなくてはならない。その一つは社員さんの給料を上げていくことになるかと思っています。

同友会では、労使見解を学びそれを実践していくことを提唱していますが、憲章・条例運動などを含め、同友会運動を総合的に進める中で、今後はBCPやSDGsなどの課題についても学んでいかないとはいけないと思います。

組織全体で取り組む運動へ

実は私は熊本出身で、地元の町の人口は2500人。今はスパーが一軒もなくなりました。これからこういう地域が出てくるとは思いますが、地域で働きたいと思う企業づくりをしていかないとはいけない、これが中小企業振興条例の基本だろうと思います。どんなに自分の会社ががんばっていても、地域が沈んでしまったら、自社も埋没してしまいます。だから自社をよくするように地域をよくしないとだめなのです。

そのための仲間づくりですが、私は代表理事と増強担当本部長を兼任してきました。福岡同友会の機関紙『同友』に、行政のリーダーに同友会の推薦文を寄稿してもらったり、増強ポスターも九州沖縄ブロックとして統一のものを作り、金融機関に貼ってもらったりと知名度を上げる活動をしています。理事62名の増強状況を星取表にし、理事会で表彰をしたりと、増強ムードを高める工夫をしています。こういったさまざまな取り組みが功を奏し、昨年度の会員拡大は59名の純増でした。

同友会は活動と言わず、運動と言いますよね。沖縄同友会の比嘉あみ子さんは「一人でやるのは行動、チームでやるのが活動、地域を巻き込んでやるのが運動である」と言われ、そのことはとても腑に落ちました。増強も、振興条例も同じで、組織でやるのが大事なのだと思います。(事務局 古川佳子 記)

埼玉中小企業家同友会 第46回定時総会 功労表彰者 一覧(敬称略)

【感謝状】役員退任者

◆会長	木下信次	東彩地区会	原 博之
◆代表理事	久賀きよ江	◆委員長	
◆地区会長		経営労働委員会	吉田雄亮
浦和地区会	小林 勉	障害者雇用推進委員会	赤塚正樹
大宮南地区会	牧野次成	女性経営者クラブ・ファミ	
西部地区会	綱川めぐみ		大原佳子
葛地区会	水野浩美	青年部	斉藤寿和
北部地区会	金子弘行	広報委員会	藤元天美
さくら地区会	植竹知子		

特別功労賞

◆会員拡大 【年間3名以上会員増強者】

11名	大村 相基	むさし野地区会
8名	石原 勇介	むさし野地区会
7名	折原 昌司	彩北地区会
6名	西本 淳弥	東部地区会
5名	小山 秀朗	むさし野地区会
5名	植竹 知子	さくら地区会
4名	石井 孝徳	戸田・蕨地区会
3名	赤塚 正樹	大宮南地区会
3名	太田 久年	東彩地区会
3名	倉沢 延寿	川越地区会

埼玉中小企業家同友会 2019年度役員名簿

【地区会推薦理事】

◇は地区会長予定者

川口地区会	◇坂本武蔵	親富祖亮
戸田・蕨地区会	◇池田大喜	小林隆文
浦和地区会	◇北川登美代	小林 勉
大宮東地区会	◇島村友基	薊喜美雄
大宮中央地区会	◇鈴木光義	栢込博久
大宮南地区会	◇出野哲也	高瀬利明
西部地区会	◇鶴田 樹	小池優太
むさし野地区会	◇福山行雄	江崎浩史
東部地区会	◇平林弘行	上野広美
中部地区会	◇武笠克弘	山崎一樹
埼玉地区会	◇吉成直人	水野浩美
北部地区会	◇小林秀行	竹内 朗
さくら地区会	◇西山英行	吉野一郎
川越地区会	◇倉沢延寿	大沼 崇
東彩地区会	◇永井義昭	五十嵐洋子
彩北地区会	◇折原昌司	早川良史

【委員長(理事)】

広報委員会	鈴木一朗
経営労働委員会	満生 剛
共同求人委員会	三角武一郎
社員教育委員会	小山展弘
仕事づくり委員会	菅野孝治
障害者雇用推進委員会	横山由紀子
女性経営者クラブ・ファミ	宇梶純江
青年部	伊藤 健
政策委員会	新井俊雄

【正副代表理事】

代表理事	太田久年
副代表理事	高橋尚樹・小山秀朗・小林聡一 高橋正哲・沼田道孝・吉田雄亮・ 米山正樹・植竹知子・三角武一郎

【正副代表理事会議推薦理事】

西本淳弥・奥津雅史・高橋浩一・石原勇介 牧野次成・荷田光雄・大村相基・町田明美

【会長理事】

久賀きよ江

【相談役理事】

木下信次

【相談役】

切山英彦・野口喜介・山口勝治

【監事】

海沼春男・小山 忠

【中同協役員】

幹 事	久賀きよ江・太田久年・沼田道孝
監 事	新井俊雄

【特別顧問】

上田清司

『正副代表理事あいさつ』

『人間尊重の経営』と「強靱な経営体質の企業」で豊かな地域づくりに貢献しよう
～影響力を持ち誇り高い経営者団体として仲間を迎え広げよう～

埼玉中小企業家同友会は『「人間尊重の経営」と「強靱な経営体質の企業」で豊かな地域づくりに貢献しよう』をスローガンに掲げ、2019年度の活動をスタートしました。埼玉同友会を牽引する、10名の正副代表理事に展望と意気込みを語っていただきました。



～誇り高くしたたかに仲間を増やそう～

代表理事 太田久年

昨年に引き続き今年度の埼玉中小企業家同友会の代表理事を仰せつかりました。「令和」という新しい時代への節目にあたり、覚悟と責任を持って埼玉中小企業家同友会並びに会員企業の発展の為に努力する所存でございます。

日本国内は新天皇ご即位による奉祝感に包まれる年となりますが、一方で世界経済は、米中貿易戦争や中国経済の減速、日米貿易協定・自動車関税引き上げ懸念、英国ブレクジット(EU離脱)、欧州大陸の不況など波乱含みの展開が予想されます。我々中小企業を取り巻く環境も「人手不足」や「働き方改革」など楽観できる状況ではありません。

その中で、今年は中同協設立50周年を迎えます。先人達

が築いた同友会運動の歴史と理念を学び、また新たな半世紀を会員の皆様と共に展望したいと思います。そして今年度中に全国五万名会員を実現し、埼玉中小企業家同友会の誇りと強さを県内外に発信していきたいと考えています。今年度の埼玉同友会は、同友会型企業づくりの実践は勿論のこと、地域の課題や中小企業を取り巻く社会、経済、政治的な環境の改善にも取り組むために、更に多くの仲間を増やし、名実ともに公益性や組織力のある中小企業家団体を目指して参ります。

時代の変化が激しい中で、自社の経営や同友会運動を維持し発展させることは並大抵ではありません。しかしだからと言って我々会の役員が情勢の困難さを口実にして責任を果たさなかったり、あきらめたりすることがあってはなりません。代表理事である以上、いかに環境が厳しくても、時代の変化に対応して、同友会を維持し発展させる責任があります。新地区の設立や会員増強、役員や事務局を育て、行政との連携を推進するなど、代表理事としてやらねばならない事は山ほどありますが、私は「何よりも実際の経営を実践する会員各位の企業づくりが進み、高い志のもとに、会員の自発性が発揮される状態を会内に確立する努力が決定的に重要」と考えております。

まだまだ若輩者でございますが、謙虚に学ぶ姿勢を貫き、会員の皆様と共に同友会理念「同友会の三つの目的」「自主民主連帯の精神」「国民や地域と共に歩む中小企業」を体現し、誇り高い志を持って運動を進めてまいります。1年間よろしくお願いいたします。



定時総会で意気込みを語る太田氏



地域に必要な経済団体として

副代表理事 **高橋尚樹**

本年度副代表理事として三期目となります北部地区会、三矢精工(株)の高橋尚樹でございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

近年、県内外からの依頼、諸課題への対応が増す中、本年度より代表理事が1名となる為、今年度は副代表を増員しての船出となります。その中で私の役割は県北地域での新地区担当と引き続き渉外を担当させていただきます。

まず新地区ですが残念ながら昨年は足踏み状態でしたが、本年度は地元経済団体や会員の人脈等を通じて対象地域に新会員を増やし将来の基盤人材を育てていければと考えております。

また渉外に関しましては太田代表にかかる負担を少しでも軽減できます様に、また経済六団体の中でより存在感のある団体となれるようにお手伝いをさせていただきつものであります。現在の同友会は数年前では考えられないほど経済団体としての地位が高まっており、それに伴い責任も増しております。

経営に真剣に取り組み、自分を・会社を成長させたいと悩む経営者に必要とされる「社長の学校」。地域で必要とされるそんな団体になりたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます



令和元年!
新風を吹かそう!

副代表理事 **植竹知子**

令和元年、副代表理事を務めさせていただきます、さくら地区会(熊谷市・行田市)所属の(株)ピーアイピー(印刷・出版業)の植竹知子です。平成29年度、30年度の地区会長をさせて頂き、昨年度は「さくら地区会20周年記念式典」を開催することができました。同友会会員歴は27年で、埼玉同友会1,500名近い時代を知っていることと、代表理事の久賀さんが、中同協へいくことで女性の役員が居なくなるので、女性の私が副代表理事に推薦を受けたようです。

25歳で起業し36年間経営に携わり、様々な経営者団体に加入し、勉強させて頂きましたが、何故か同友会は嫌いにならず、参加できる時は「お久しぶり…」と笑顔で例会にでて、会員との交流を図って参りました。同友会は気楽に話せ、私にとってホッとできる会のように感じます。よって長きに渡りお世話になっておりますので、副代表理事と

して、恩返しができればと考えております。同友会の発展に真剣に向き合い、どうしたら良い方向に向くのか話し合い、謙虚に実践していくよう、令和と共に新しい風を吹かせたいと考えております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



やっぱり同友会は学べるんです!

副代表理事 **小林聡一**

今年度も副代表理事を務めさせていただきます、西部地区会小林聡一です。どうぞよろしくお願い致します。

同友会では地区会だけでなく、県や全国など行事ごとが多く、ついつい目の前の役割をこなすことに手一杯になってしまい、なかなか学んでいる実感を持ってない、という会員もいらっしゃるかもしれません。「経営の勉強をするために入会したんだけどなあ」と感じたら、次のようなことを考えてみてください。

例えば、野球が上手くなるために一番効果的なのはどれでしょうか?①「他の選手のプレーを見る」、②「他の選手と一緒にグラウンドで練習する」、③「試合でプレーする」

さて、答えは①でしょうか、②でしょうか?それとも③でしょうか?実は正解は「全部やる」ですよ。

では経営の勉強とは何でしょうか?「経営体験報告を聴く」「グループ討論で意見交換する」「自社で実践する」というサイクルって、とても効果的ではないでしょうか?さらに、そこに自主的に参画することによってさらに加速するように思えます。そして「会員は辞書の一ページ」ですから、会員が増えることは私たちの学びがさらに広がることにつながります。

さあ、今年も一緒に学んで実践していきましょう!!



令和元年!埼玉同友会発展の為に
お力添えをお願いします

副代表理事 **小山秀朗**

(株)東上セレモサービスの小山秀朗でございます。2019年度も昨年度に引き続き副代表理事を務めさせて頂く事になりました。2018年度を振り返りますと、今年度大きく影響する天皇の生前退位や消費税率の引き上げについて発表があり、ひとつの時代に幕を閉じる事や新しい時代への準備に対する心構えを持って過ごされた会員の皆様も多かったと思います。

5月1日からの新元号は「令和」と発表され、約31年続い

た平成に幕を閉じました。元号が変わっても消費税率が変わっても、変化しないものは「心」があるということです。会員の皆様、その会社の社員の皆様、そして家族にも心があります。私ごとではございますが、2018年度は特に「人」すなわち会員の皆様に支えて頂いた事を実感した年度でございました。つらい時声をかけて下さった方、そっと見守って下さった方、喜びを分かち合っただ下さった方。それは埼玉中小企業家同友会の会員の皆様です。本当に有難うございました。

2019年度は柔軟な心で誠実に、そして同友会会員の一人として「私がやるべき事それは仲間を増やす事」を目標に掲げて邁進して参ります。

未来へ向け益々同友会が発展を続けられるよう、今やるべきことは何か、そしていつまでも変化しない本質的なものを忘れない中に、新しく変化を重ねているものを取り入れ、時代とともに変わっていくこと、変わっていかねばならないこと、変わってはいけないものを見極める力を養い、埼玉中小企業家同友会が向上する事をお約束させていただきます。



共に学び発展できる
仲間を増やしましょう!

副代表理事 高橋正哲

今期も副代表を仰せつかりました(有)高板金工業の高橋です。

昨年は900名近い参加による6月の女全交開催、2年近い準備期間を経て加須・羽生を中心とした11月の彩北地区設立など埼玉同友会にとって、とても思い出深い一年になりました。

昨年に引き続きオリエンテーションと役員研修を担当する事になりましたので新会員さんが一日も早く、同友会に対する理解を深め、各地区会での活発な同友会運動の推進と、一人でも多くの新しい仲間づくりの担い手となっただけできるよう、しっかり努めたいと思います。

また役員研修では、各地区会で同友会運動の牽引役となる理事・幹事を一人でも多く輩出できるような企画、運営を目指します。

今期は副代表が所属地区以外の地区とのパイプ役として、県と地区会との連携を深める事になり、設立に関わらせて頂いた彩北地区と、埼玉地区を担当させていただきます。

消費増税、人手不足、働き方改革その他外部環境が、我々中小企業家にとって、益々厳しい状況となってきましたが「人間尊重の経営」と「強靱な経営体質の企業づくり」を進めていくことが、埼玉同友会と会員企業の皆様の発展に繋がると思いますので、今期も宜しくお願いします。

日本経済の未来をつくる
同友会運動



副代表理事 沼田道孝

今年の10月から消費税が10%に上がる。8%に上がった時に、消費者の行動が根本から変わり消費の停滞、庶民と中小企業の実感なき経済拡大を実感してきた。そんな時に、バブル経済崩壊の後の失われた20年、デフレ経済の実態をまさに解明した「10%消費税」が日本経済を破壊する」という藤井聡氏の本を読んだ。藤井氏の消費税5%への税率アップから日本経済の崩壊、衰退国家への道を歩み出したという指摘に、頭を殴られたような衝撃を受けた。そうだったのかと納得である。

同友会は消費税の税率アップを凍結と要求している。常に実践的に解決し、地域と国民とともに発展しようとしている同友会運動は、まさに日本経済の未来を創り出す存在だと思う。

弱肉強食の新自由主義が格差と貧困を広げる。そのことが国民経済を脆弱なものにしている。同友会は、地域経済を活性化させ中小企業の活躍する経済が日本経済を真に豊かにし新しい日本をつくる道だとしている。この運動を一層進めるために微力ながらも副代表としての任務に就いていきたい。



王道を歩む

副代表理事 三角武一郎

この度、理事会のご推挙により副代表理事に就任いたしました。2010年、思い返せば、事業承継を控えて、意気揚々と入会しましたが、人を生かす経営を知り、自身の未熟さを痛感したところからのスタートでした。学べば学ぶほど、自社の経営にダメ出し、将来を悲観するストレスな毎日でした。それでも、未来を見据えて精一杯学び続けることができたのは、先輩会員の経営姿勢に魅了されていたからです。そうして2013年、売り上げ拡大する状況で資金繰りが行き詰まり、事実上経営破たんしたのです。追い込まれ崖っぷちの社長交代でした。こうして奇跡的な経営再建ができていいるのは、同友会のおかげです。

これまで、地区会長、青年部初代部長、そして現在共同求人委員長として、役を担い、より多くを学び実践を重ね、3つの目的の総合実践、同友会型企業づくりの王道を歩んでまいりました。さらなる大役を仰せつかるには、まことに若輩でございませうが、会員各位ならびに事務局のみなさまのご助言、ご協力を

仰ぎ、同友会運動の体現者として、理念の実現に邁進してゆく決意でございます。2021年障全交、2023年全国総会開催を錦の御旗に、全力で会員増強に取り組みましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。



埼玉中小企業家同友会理念の 体験者作りを目指して

副代表理事 **吉田雄亮**

副代表理事2年目となります。昨年は経営労働委員長との2足の草鞋でしたが、今年は副代表理事のみとなり、全県経営研究集会実行委員長の大役を頂きました。全研は、地区活動と県の委員会活動が融合する、埼玉同友会学びの総決算です。前任の小林実行委員長を中心に、実行委員会の皆様には多大なる、ご尽力を頂きました。私が実行委員長になっても引き続き「学べる会議体」を推進し、実行委員会活性化に努め、全研を今まで以上に盛り上げていきたいと思っております。

また、今年は埼玉同友会の長期ビジョン推進も担当させていただきます。会員の皆様、夢や希望を持てる同友会運動を展開できるような、方向性を作ればと思います。地区会活動、県の委員会活動を通じて「同友会で学んで実践したので、今がある。今も課題はあるが、愚直に取り組んでいます」と、率直に話せる仲間として、中小企業家づくりのお手伝いが、出来ればと思います。会員の皆様、「同友会理念の体現者」を目指して、共に頑張りましょう。1年間よろしく願いいたします。



地域を励まし貢献できる存在に

副代表理事 **米山正樹**

前期に引き続き副代表理事を務めさせていただきます米山正樹(プラスワン労務事務所・川口地区会)です。よろしく願いいたします。

本年度の埼玉同友会は「仲間を広げる」ことを活動方針のトップに掲げています。それは、同友会の「三つの目的」である「良い会社をつくる」「良い経営者になる」「良い経営環境をつくる」ためには、良識ある中小企業経営者を増やすことが「いの一歩」に重要であるということを示していると理解するところです。

『人を生かす経営』を学び実践する同友会は、会員企業はもちろん会外の中小企業を励まし、地域社会の発展に貢献できる存在です。まず「人を生かす経営」を自社でも同友会で

も実践しましょう。また、積極的に会外広報に取り組み同友会の魅力を発信しましょう。さらに、元気な中小企業は地域を元気にします。どんどん地域に関わりましょう。そして仲間の輪を広げましょう。これらの活動を皆さんとともに大いに取り組んでいきたいと思っております。よろしく願いいたします。



会員の皆様と共に

事務局長・理事 **清水信彰**

前年度は大変お世話になりました。事務局長の清水でございます。今期より理事会のご推挙により理事を仰せつかりました。事務局への会員の皆様の期待をこれまで以上に感じており、職員一丸となって業務を遂行するつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年は会員の皆様と共に女性経営者全国交流会(女全交)を埼玉で開催できました。約10年ぶりの埼玉での全国交流会という事で事務局は不慣れな点がございましたが会員の皆様の主体的なお力の賜物で無事に立派な全国交流会となりました。事務局はこのような素晴らしい運動をより多くの経営者の方に知っていただけるよう、そして女全交の団結力をそのまま維持して今年度以降は多数の経営者に入会していただけるよう、会員拡大を最優先事項として取り組んでまいります。ここに来て会員の皆様の増強の気運も高まってきておりこの機会を逃さぬようしたいと思っております。

更に今期は2021年埼玉開催予定の障害者問題全国交流会も大成功させるべく事務局も取り組んでまいります。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

◆◆◆ 次号告知 ◆◆◆

次号は7・8月合併号となります。発行は7月12日(金)発送を予定しています。

※封入チラシの申込み締め切りは6月14日(金)

～チラシ封入サービスについてのご連絡～

チラシ封入サービスの料金は本年4月より改定しています。

詳しくは同封の案内をごらんください。

また、埼玉同友会は、この「チラシ封入DMサービス」のご利用により生じたいかなる損害についても賠償の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2019年度 委員長挨拶

同友会活動は地区会だけじゃない!
委員会の相互連携強化でより求められる同友会活動へ

2019年度の委員会活動が始まります。会員の皆様の要求、時代や環境の変化に対応していくために、より深い専門性を高める委員会活動は重要です。委員会には、組織・運営する「運営委員会」と専門的な課題に取り組む「専門委員会」があります。それぞれの委員会は、地区会の垣根を越えて自分の興味関心、また悩みをかかえている分野に参加する方が集まり活動をしています。また、委員会の相互連携による学習会やセミナー開催も予定されているので、ぜひ積極的にご参加ください。

=運営委員会=



【広報委員会】

3S
(スマート、スピード、ストロング)

広報委員長 **鈴木一朗**

この度、広報委員長を仰せつかりました東部地区会の鈴木です。今期のスローガンは「3S=スマート、スピード、ストロング」です。

具体的には、1S(スマート)、会員の皆さまにご愛読いただいております機関誌「DOYOUさいたま」の特集企画をより一層充実させ、編集やデザインにおいてもクオリティアップを目指し、さらに楽しく読んで頂けるスマートな機関誌へと改善いたします。

2S(スピード)、生きた情報を新鮮なうちにスピーディーに発信できる仕組みを構築します。情報のスピード化にはインターネットは欠かせません。埼玉中小企業家同友会オフィシャルサイトのリニューアルを目指し、情報発信と管理の環境整備を進めます。

3S(ストロング)、対外への広報活動を強化し会員増強をサポートします。行政、マスコミとの連携を充実させ地域社会への情報発信を進めることで、広く同友会への理解を深めます。

「会員同士を繋げる架け橋」をモットーに更なる広報活動を進めてまいります。どうぞ皆さまのご理解とご協力をよろしく願います。

=専門委員会=



【経営労働委員会】

自らが経営指針成文化の実践
企業として生き生きとした未来
を描こう!

経営労働委員長 **満生 剛**

この度、経営労働委員長を仰せつかりました、中部地区会の満

生(みついき)です。経営指針づくりセミナー(以下指針セミナー)は毎年多くの受講生を輩出して参りました。今では各地区会での活動会員さんの多くが指針セミナーを受講されていると思います。

指針セミナーは「まずは受講しよう!」という段階から、同友会型企業づくりを実践しようという「学びから実践」の段階にいよいよ入ってきました。

そんな現状から今年度より受講生の定員数を昨年までの32名から24名にし、より深い学びや気づきが得られる指針セミナーになるよう準備を進めています。

また指針セミナー受講後の実践企業についてもオープン学習会は勉強会などフォローをしっかりと行い、三位一体(経営指針、新卒採用、社員教育)型の企業づくりを上げていきたいと考えます。

働き方改革、消費税増税、東京オリンピック、米中関係など私達を取り巻く外部環境は今年も目まぐるしい動きが続く中で経営労働委員会の果たす役割は益々重要なものとなるでしょう。

吉田前委員長からの「経営者としてのあり方」をぶれずに問い続け、良い経営者を目指す仲間を一人でも増やしていきたいと思えます。



【共同求人委員会】

共同求人理念を学び、三位一体で同友会企業づくりを実践しよう!~迫りくる空前の売り手市場、過去最高の人材不足、理不尽な働き方改革に挑む~

共同求人委員長 **三角武一郎**

共同求人活動理念を念頭に、会員の意識改革を促す活動スローガンを掲げ、2年通して、学校・行政とのパイプづくりに着実に取り組んできました。それにより、会員の姿勢、採用状況、そして委員会の雰囲気の良い変化が確実に表れています。さらに、三位一体の企業づくりに取り組んでいる経営指針づくりセミナー修了生を主に会員を増やしています。

今年度も、引き続き、学校に同友会理念を拡げる活動を強化します。埼玉に就職することの魅力!?を発信して、合同企業説明会に学生を優先的に送り出してもらいます。会員企業の学内セミナーへの参加受入れを働きかけます。そして、キャリア講座をさらに増やします。会内の活動として、経営労働委員会、社員教育委員会との関わりを深め、三位一体の企業づくりを推進します。県委員会、地区会との合同例会を企画し、3つの目的の

総合実践を牽引します。共同求人活動は、単なる、人を採用するためだけの活動ではありません。行政、他団体とのパイプづくりも強化し、中小企業が豊かな社会をつくる振興条例普及の一役を担う運動を進めてまいります。

委員会として会員企業の求人基準適正化と魅力構築に努め、「同友会の企業なら安心」という社会的信頼ある企業集団づくりを行なっていきます。



【社員教育委員会】

一社ではできない会社同士の連携で、社員の交流、共有、成長を通じ、自社を発展させていきましょう!

社員教育委員長 **小山展弘**

この度、社員教育委員会の委員長として、3年目を迎えることができました。

これまでの委員会活動として、年三回の割合で、新入社員から、リーダー幹部に至るまで、幅広い層の役職に備えた研修を行ってきました。委員会を通じ、社員研修のカテゴリー別で成長の過程をまとめたものを作成しました。また、社員の教育を通じ、社長も学び成長するということを意識して、委員会や研修会の作りこみをしてきました。少しずつではありますが、研修会では、社長も一緒に参加して、他社の社員と話をし、気づきを得ることや、自社の課題を発見されるとの声を聞くことが増えました。また自社の社員の教育について、社長同士相談している様子を見ると、この委員会の意図が浸透してきていると思います。

今年度は、社員教育を通じて、更に会社の発展に繋がる委員会にしたいと思います。まずは各社で、どのような社員に対する課題があるかをしっかりと捉え、その課題を解決できるような研修の作りこみを行いたいと思います。また、最近の研修では、以前に新入社員研修を受けた社員もスタッフとして、協力してくれる方が増えたため、社員同士の交流を深めることも行いながら、今後ますますの委員会を盛り上げていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



【仕事づくり委員会】

会員のみなを表に出すためのお手伝い

仕事づくり委員長 **菅野孝治**

仕事づくり委員会の委員長に就任して3年目を迎える。「埼玉の5年先を考えよう」をテーマにしたオープン学習会では、「地域」「働き方」「インバウンド」から、「まちづくり」「スポーツ・観光」へとテーマが変遷し、各自が取り組むビジネスに、より具体的なヒントを提供することができている。

お互いの強みを生かす委員会活動により、個々の取り組みも活発化してきた。

川崎ビジックスワールド実行委員会への参加、「例会かけこみ寺」と名付けている同友会をよりよくするための議論、全県経営研究集会への企画参加、オープン学習会、ビジネスアリーナへのブース参加等を今年度計画している。

地区会長経験者、委員長経験者等が集まり、県の委員会として、地区会ではできない「よい会社、よい経営者、よい経営環境」をつくっていくことを各参加企業が意識している。不離一体の活動に関心のある主体的なメンバーの参加お待ちしております。



【障害者雇用推進委員会】

2021障全交埼玉開催に向け、人を生かす経営実践としての障害者雇用を浸透させよう!

障害者雇用推進委員長 **横山由紀子**

本年度、障害者雇用推進委員会委員長を仰せつかりました、浦和地区会の横山です。今期のスローガンは2021年に障全交(障害者問題全国交流会)の埼玉開催が理事会にて承認されたことを踏まえ、改めて正副委員長で練り直しました。

私自身、2013年神奈川で開催された障全交に初めて参加し、障害者雇用を実践している全国の経営者の方々に出会い、誰もがイキイキと働ける会社、共に生きる地域・社会づくり、輝けるいのち等の実践報告を伺い、深い感銘を受け、障害者雇用を自社で始め、5年経過した今では、少しずつではありますが、個性を生かし、共に成長する喜びを感じられる風土に変化してきました。

2年後の開催に向け、キックオフを切る今年度は、同友会が目指す4つの柱としての活動と位置付けている、経営労働・共同求人・社員教育委員会と連携を図り、障害者雇用についての理解を深め合っていきたいと思っています。他にも、他地区との合同例会や全県経営研究集会分科会、オープン例会等を開催し、会員企業の障害者雇用に対する関心を高めていきたいと考えています。

「障害者雇用なんてハードルが高そう」「よくわからない」と思われている会員企業の皆さん、是非、委員会や例会に足を運んでみてください。



【女性経営者クラブ・ファミ】

仲間と学びを共有し、経営実践の強力な活気に繋げよう

女性経営者クラブ・ファミ委員長 **宇梶純江**

この度、女性経営者クラブ・ファミの委員長を務めさせていただきます、大宮南地区会所属、すみえ社会保険労務士事務所の宇梶です。

今年度のファミは、「仲間との交流」及び「経営実践の活気に繋げる組織づくり」に重点を置き、活動してゆきます。昨年は通常の例会に加え「新しい仲間づくりの取り組み」として

オリエンテーション例会を2回開催しました。6名の女性経営者実践報告を通じて、女性経営者は、涙も失敗もさらけ出し、笑いながら力強く未来に向けて経営しており、そんな仲間に触発され、ファムでは自社の経営を向上していける場であるという事や、「ライフステージに合わせた“幸せな働き方改革”」を実践している企業がたくさんおり、一步先行く企業づくりとその視点をここで学べるという事を再認識しました。

私たちならではの悩みもたくさんあると思います。先人に学び、仲間と切磋琢磨し、自分の場所はここだと思える、この学びの場を皆さんとも共有したいです。ミニ学習会&交流会を新たに設けたファムミーティングにも、是非お越しください。今年も地区会とも手を取り合って、仲間を拓げる土台づくりも進めてゆきます。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。



【青年部】

実践で磨き合う、青年経営者達による成長の連鎖

青年部部长 伊藤 健

今期から青年部部长を務めさせていただき、東彩地区所属の伊藤健です。

最近、「青年部頑張っているよね」、「青年部期待しているよ」と先輩経営者の皆様に言っていただく機会が増えてきたと実感しています

その一方で「若いのだからもっと暴れ馬の様に飛び跳ねるような活動してもいいんじゃないか?」と、言われるようにもなりました。期待していただくという事は私達青年部にとって一番の原動力になっていますし、その期待に応え埼玉全体を盛り上げていくのが私達青年部員の役目だと思っております。

今期から青年部では自動入会から入部制に切り替わりました、入部希望者が入部届を提出し自分達の意思で入部を決めるという事です、これには大きな成果が期待できると思っています、それは入部者全員が本気の学びと刺激を求め集まってくるからです!!

良い経営者になり、良い会社にするのは同友会で学ぶ者であ

れば当然だと私は思っています。今期からはその一步先を行った経営者を目指し、期首で集まった30人の仲間の思いが埼玉同友会全体に飛び火していったら面白いと思います!!青年経営者の今でしか味わえない経験を全員で楽しみましょう!!

又、組織図も大きく変わり2019年度から支部を4支部作りました、例会企画や例会参加の人数の動員も支部別に運営して行きます、ここでは各支部少人数での活動になってきますので全員が主役・主体者になれる仕組みができあがります。そしてどの支部よりも良い例会を作り、動員人数・部員の増強も競い合う事でお互いを磨き合うチャンスとなるでしょう。

一年間全力で部長のお役目を果たしていきます!!宜しくお願いいたします。



【政策委員会】

同友会運動の総合実践で豊かな地域づくりに貢献しよう

政策委員長 新井俊雄

2002年に全国の都道府県に先駆けて、埼玉県は始めて中小企業振興基本条例が制定され、その後同友会の中小企業振興条例制定運動が全国的に広がって来ており、最近では殆どの県や市町村でも広がりを見せています、それは永年の同友会運動が時代に求められている運動でもある証拠であり、同友会の3つの目的に合致している証です。埼玉でも熱心に1. 良い会社をめざす2. 良い経営者をめざすは、「経営指針」や「労使見解」を学び広がって参りました。これからは3つ目の「良い経営環境をめざす」為には、1.2が出来て初めて、行政や他団体にも要望や提言活動が出来るようになってきます。今年度からは政策PTから委員会となり、会員企業の皆様の声を地区会や委員会とも連動して内容や幅も広げていく方針です。埼玉同友会もこれからの時代を見据え正副代表理事を始め、各地区会長・委員長など構成される理事メンバーが一体となって、力強い埼玉同友会として県内企業組織率3%を目指す経営者団体に相応しい他の委員会とも連携を取りながら進めて参りたいと考えていますので、皆様がたのご協力を宜しくお願いいたします。

広報委員会主催 第9回広告大賞

『DOYOUさいたま』に毎月封入されている広告チラシ(去年4月から今年3月号までが対象)の中から広報委員会がひとり一票を投じて選んだ今年最優秀広告対象は、(有)ブリド(東彩地区会)に決定しました。代表取締役の五十嵐洋子氏には4月20日の定時総会に於いて、記念品として恒例となったcrossのボールペンが贈られました。

◆『DOYOUさいたま』封入チラシサービスを利用しませんか?

広報委員会では『DOYOUさいたま』と一緒に毎月封入されているチラシ・DM・パンフレットなどの広告宣伝物を受け付けています。申込用紙は本誌に同封されています。



▲鈴木広報委員長(右)から記念品を授与される五十嵐氏

埼玉中小企業家同友会 合同入社式・新入社員研修会



今年も4月1日～2日にかけて埼玉中小企業家同友会 共同求人委員会・社員教育委員会による(2019年度合同入社式・新入社員研修会)が川口フレンドシアにて開催され、県内の同友会会員企業27社から56名の新入社員が入社式、56名の方が研修会に参加しました。

2019年度 合同入社式

主催者を代表し、久賀きよ江代表理事から「新元号1年目となる記念すべき入社式です。企業の発展は人にあります。企業にとって皆さんは財産です。採用ではじまり、大切に育て、やがて人財となります。今日を有意義な1日とし、よい人生のスタートをきってください」と祝辞がありました。続いて上田埼玉県知事から「明るく、楽しく、元気よく社会人として、第一歩を踏み出し、会社を埼玉県を牽引する力となることを期待しています」とのメッセージが披露されました。

そして先輩社員を代表して(株)吉田電工 山田燎さんが「先輩から指導を待つのではなく、自ら考え動き経験する。時には失敗もあるが、それが仕事を覚える近道になります。共に成長していきましょう」と歓迎の言葉を送り、新入社員からは(株)

KSP本村優さんの決意表明がありました。

記念講演では太田久年代表理事が『地域企業で働き、学び、生きること』と題して

- ①読む力(民主)…謙虚に学ぶ姿勢
 - ②問う力(自主)…どのように会社に貢献するのか。情報に惑わされず自分の頭で考える
 - ③繋がる力(連帯)…あてにしあてにされる関係を築く
- 求められる3つの能力の重要性を述べられました。

また、今日からの1年をどう過ごすか、1年後自分がどう成長するのかをイメージすること。そしてその繰り返しが大変であること。地域で働き、学び、生きることの大切さを語られました。(共同求人委員会 中部地区会 水上真紀 記)

2019年度 新入社員研修会

新入社員研修会について

今年も25社56名の新入社員が2日間に渡る研修に参加しました。研修の最初に、皆の緊張度合いを確認するゲームを行ったのですが、ほとんどの受講生が「少し緊張している」とのことでした。初めて社会に出て、慣れないスーツを着て、先輩の社会人に囲まれ、研修開始当初はそんな雰囲気にもまれていました。

研修初日は、小倉越子氏の講師によるマナー研修を行いました。主に、挨拶、敬語、電話応対を中心に社会人のマナーを伝えました。内容を教えていく過程で、隣のひと、またはグループ内で、演習を行ってもらう時間を設けていたので、次第に打ち解け、緊張もほぐれてきたように見えました。

研修二日目は、マナー研修の続きで、名刺交換を行い、途中から、社会人の心構え、プロフェッショナルであることというテーマで、小松君恵氏に話をしてもらいました。その後は、学生と社会人の違い、社会人の期待と不安、社会人の心構

えをグループ討論してもらい、色々な意見交換をしてもらいました。最後の委員長の挨拶にて、「いよいよ明日から本当の社会人生活が始まります。この2日間で身につけた内容をぜひ会社に戻った後に活かしてください」と締めくくってもらいました。

たくさんのスタッフの協力もあり、研修は無事終了することができました。研修最後では、同席してくださった社長やスタッフも、受講生の最初とは違った逞しい顔つきにうれしい気持ちになります。スタッフとして若い社員に触れ、入社動機、関心のある事、考え方を聴くことは大変参考になります。この委員会のスローガンでもある経営者も社員と共に成長できる研修を今後も継続して企画していきたいと思えます。(社員教育委員会 戸田・蕨地区会 小山展弘 記)



2019年度 理事候補者研修会

日時:3月23日(土) 10:00~

会場:新都心ビジネス交流プラザ

【第一部】中小企業家同友会全国協議会 顧問 国吉 昌晴氏

【第二部】埼玉中小企業家同友会 代表理事 太田 久年氏

【第三部】埼玉中小企業家同友会 副代表理事 小山 秀朗氏

去る3月23日(土)10時より、新都心ビジネス交流プラザにて「2019年度 理事候補者研修会」が開催されました。久賀 きよ江代表理事の挨拶から始まり、第一部では中小企業家同友会全国協議会 顧問 国吉 昌晴氏による同友会の歴史とその使命についての講義があり、それを受けてグループ討論が行われました。

引き続き第二部では、埼玉中小企業家同友会 代表理事

太田 久年氏より次年度の活動方針についての説明が報告され、2回目のグループ討論となりました。

第三部では、埼玉中小企業家同友会 副代表理事 小山 秀朗氏より会員増強を含めた同友会の真髓についての報告があり、3回目のグループ討論となりました。

参加された各方面の理事候補者らは、グループ討論を経て口々に、「理事としての自覚を持って同友会理念を総合実践し、経営者としての自己を鍛えたい」「同友会の歴史と先人達の思いを学び、同友会三つの目的について改めて理解を深めることができた」「リーダーとして県の方針を各地区会に落とし込み実践するための役割と責任について学ぶことができた」などの感想を述べ理事という役に対する心構えを確固なものとしていました。(東部地区会 鈴木一朗 記)

理事候補者研修会の参加者アンケートより

- 会社内のポジションが上がるにつれ見える世界が広がっていく。同様に同友会でも地区会員、幹事、委員長、地区会長、理事ではそれぞれ見る視点が変わっていく。それぞれのポジションでの学びを深め、自社の経営を発展させて行く事を通じ、同友会理念の体現、実践をしていきたい。
- 歴史や理想をよく理解する事がまず大事な事であり、それを体現していくことで、自社の経営を良くすることが同友会の本来の意味である。ただ役をやるだけでなく、毎回アンテナをはり、何かを持ち帰り、即実践し、また、参加していくことで、実践のスピードを上げたいと思いました。
- 同友会の歴史を学ぶことにより、当時の中小企業家たちが多くの想いをもって同友会を立ち上げた事を知り、同友会三つの目

的に対する考え方が深まった。

- 伝えるべき事が何か、明確なビジョンの打ち出しが、道しるべになると感じたことから、会長退任後も理事として地区会長との連携、陰ながらの応援、向いている方向を後ろから照らす役目と、自社の方向性は本当にあっていいのか、立ち止まる時間として、前進していく機会にしたい。
- 県の方針や内容、参加時の情報など 幹事会、例会委員会などでしっかり伝えることで(個人で)もっと県と地域が近くなる方法を考え、実践してみたいと思います。
- 会員増強の必要性和それらがもたらすメリットを考えさせられました。グループ討論をする事でさまざまな方法論が出て、会員増強に前向きな気持ちになった。

今年の中研は熱い!!

吉田雄亮実行委員長のもと、2019年度中研実行委員会が新メンバー体制にてスタートしました!

例年と異なり、2018年の中研終了後も解散せずに、2019年度中研に向けて、じっくりと組織、中研テーマ等について話し合いを重ねてきました。熱い議論の末、決まったテーマは

「広げよう学びの輪 磨こう経営の力
~人間尊重の経営」と「強靱な経営体質の企業」で豊かな地域づくりに貢献しよう~」

中研を1年間の学びの集大成と位置づけ、その学び合いの輪を会外にも広げていきたいとの想いが込められています。会員はもとより、多くのゲストに参加していただき、今まで以上に大きな刺激を得られる中研にするべく、実行委員会も張り切っています!ぜひ、その渦に参画して一緒に盛り上げていきましょう!!



事務局 働き方改革

中同協より「働く環境づくりの手引き」が出版されるなど、同友会では労働環境整備は経営者の責任と位置づけ、よりその意識が高まってきています。

そんな中、会員企業の模範となるべき事務局の就業規則の現状は...という、必ずしも、若者が就業を希望するような環境にはなっていないのが現実です。

将来の事務局体制を整えるために、事務局担当理事の、米山副代表、三角副代表にも助言をいただきながら、定期的に会議を重ね、就業規則の見直しに着手しています。

職員が生き生きと働ける環境はどうあるべきか、会員の皆さまとぜひ一緒に考えていきたいと思っています。



埼玉中小企業家同友会 2019年度 第1回理事会議事録

(2019年度スローガン) 「人間尊重の経営」と「強靱な経営体質の企業」で豊かな地域づくりに貢献しよう

◆日時: 2019年4月26日(金) 18:30 ~ 20:30

◆会場: 新都心ビジネス交流プラザ4F

◆司会・議長: 奥津理事

◆議事録署名者: 高橋尚副代表理事

◆議事録作成者: 清水事務局長

・太田代表理事挨拶

2019年度初の理事会です。同友会ではどんな内容でも協議をし尽くして決めていく会です。理事会も同様ですので新理事の方も遠慮せずに今後発言して下さい。

1. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

・新理事(理事会初参加の方)の紹介を実施した。

協議事項

1. 2021年埼玉障全交について(報告者: 横山委員長)

【障害者問題全国交流会=略称: 障全交】

前回の理事会で障全交の開催の決定をして頂きありがとうございます。決定を受けて障害者雇用推進委員会の2019年度方針のスローガンを障全交開催に向けて変更しました。

(協議内容)

- ・実行委員会の立ち上げ等は8月に開催される中同協の障害者問題委員会で正式に決定してから始動する。
- ・発足前だが実行委員会等は女全交と比較すると出来るだけ簡素化した形で準備をしたい
- ・各地区会には障害者委員会と合同で例会等を開催し、機運を盛り上げて頂きたいので協力を御願いたい。
- ・障全交を開催するに当たり、各地区会で障害者関連の事業を行っている方の入会を促進したらどうか。
- ・日程: 2021年10月21日(木) ~ 22日(金) 予定
- ・開催規模: 最大600名(県内250名+県外350名) 5 ~ 6分科会+見学分科会予定
- ・会場候補: 大宮ソニック周辺、プリランテ武蔵野周辺、浦和ロイヤルパインズ等予定

報告事項

1. 第46回定時総会について(報告者: 三角副代表理事)

4/20に新都心ビジネス交流プラザにて当日会員参加者204名、来賓・ゲスト24名で開催したが参加者が予想よりも少なく収支も厳しい状況。今後原因等を検討していく。記念講演は同友会の王道のような素晴らしい内容であった。当日は設営地区会の中部地区会主導で次年度設営の埼玉地区会と前年度設営の東部地区会が協力して素晴らしい設営だった。

2. 全研実行委員会報告

4/25に第1回全研実行委員会を開催。2018年度の全研開催の後に継続して実行委員会を開催した為、段取りが良くスムーズに進めることが出来た。記念講演については候補者が4名だったので協議して優先交渉順位を決定した。続いて分科会も5分科会と見学1分科会の提案については承認となり、次回までに詳細を提案して頂ける事になった。見学については定員20名と企画されているが2班に分けて実施できないかとの意見があり検討となった。各地区の例会の様子のパネル展示設営の提案があったが次回詳細を検討する。まだ会場の余裕があるので次回まで分科会担当希望の地区会、委員会に働きかけを実施する。参加目標は500名。普段の例会も参加人数を増やし、全研を盛り上げて頂きたい。

3. 政策問題プロジェクト報告(報告者: 新井理事)

- ①2019年1-3月期景況調査を実施したが、最終集計では回答数147件と残念ながら少なかった。今回はアンケートの分析を玉川大学の長谷川先生に依頼したが集計を早くした為、今回レポートを添付する事が出来た。分析では埼玉県は他都道府県と比較すると経済状況は悪くないことが結果として分った。しかし埼玉でも南部地域と北部地域を比較すると結果に違いが出るのではないかと予測がでたので次回の分析に加えていく。

②今後の景況調査としては300筆以上を目標にしていこう。

③今年も7/17に第3回中小企業応援サミットを開催する。本来は県で実施する事だが、同友会で主体的に実施する。今回は慶応大学教授の植田浩史氏、吉川市及び久喜市、深谷市等の実務担当者との出席を3市に依頼している。これから埼玉県、埼玉県団体中央会等の名義後援申請等を進めていく。

4. 平成31年度 埼玉県職員の研修受け入れ報告

3月に県庁より要請のあった県職員の研修受け入れについては今年度4社より受諾して頂き県に通知した。

- ①株東上セレモサービス
- ②株コマーム
- ③埼玉グランドホテル本庄
- ④株第一経営相談所

5. 地区会・委員会よりの報告

①経営労働委員会

2019年度の経営指針セミナー定員24名のうち受講予定者も含め、現在20名の参加見込み。まだ間に合うので参加希望の方は早急に申し込みをして頂きたい。

②社員教育委員会

4/1 ~ 2に入社式・新入社員研修会を開催した。今回も入社式の午後より研修会を実施したが数人の方から自社で入社式をする為に両企画の日程をずらしてほしいとの要望があった。4/23の委員会で検討したが連続して実施する場合は都合3日かかってしまう。合同入社式については県行事なので理事会等で検討して頂きたい。次年度については会場の予約の関係から変更はむずかしい。

③障害者雇用推進委員会

今年度も委員会のアンケートを御願しているが障全交の機運を盛り上げる為にも協力して頂きたい。

④女性経営者クラブ・ファム

女全交IN広島が6/13,6/14に開催されます。昨年は埼玉に多数の方に来て応援して頂きました。今年は参加定員が少ないので早めに申し込んでください。奮って参加しましょう。

⑤青年部

6/8に青年部経営者フォーラムを開催します。埼玉同友会は参加目標を50名としています。奮って参加下さい。

⑥組織強化支援室

現状、会員の方の増強に対して思いが強くなって来ているのを感じます。2019年度は正副代表理事会推薦の8名の方も会員拡大優先です。その第1回の会議を5/29に第2回会議を7/19に開催いたしますので正副推薦理事の方は参加して頂きたい。

6. その他

①東彩地区の組織割りについて

現在、吉川、草加市が組織率表では東部地区会になっているが東彩地区に変更できないか。

→他の地区会でもある事だが増強の観点からも検討の余地があるので後日返答する。

②各地区の増強の取組みに対して先の理事会で承認された会員拡大策の入会金還元の表彰を実施した。

③事務局動続30年の由田氏退職に伴い送別会を5/30(木)にラフさいたまで開催する。奮って参加して下さい。

特別報告(19:30 ~ 20:30)

『消費税率引き上げでどうなる経営環境』

・講師(報告者): 沼田副代表理事

沼田副代表理事が今秋施行予定の消費税率の10%への引き上げについてその内容及び実務への影響等についての報告を実施した。

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (4/1~)



山田清智
(有)キヨミ工業
東彩地区会
建設業、デザイン金物工事一式



石井和也
(株)十八屋
東彩地区会
酒類卸売・小売業



〈登録変更〉
安永 栄美
(有)ハウスメンテみやび
大宮南地区会
リフォーム業全般、不動産業、
外構、解体



染谷哲央
(有)岩平屋
東彩地区会
寝具、下着の小売



滝島幸子
ジャパンマネージメントサービス(株)
むさし野地区会
会計事務所



橋本卓
丸友建設工業(株)
川越地区会
土木業(舗装、宅地造成、農
地改良、外構工事など)



佐藤亜希子
(株)Swing Kids
浦和地区会
教材のリサイクル



若林久裕
若林建設
さくら地区会
住宅新築・改修工事



深町智之
攪拌カイゼン(同)
むさし野地区会
遠心攪拌装置の
販売・小売り



西野摩耶
Rounge Maya
戸田・蕨地区会
飲食店
(ラウンジ、カラオケ、
酒類提供)



山下太一
(株)グレイト
戸田・蕨地区会
管工事、設備工事一式



柳下裕之
柳下技研(株)
むさし野地区会
自動車、半導体部品試作加工、
メカトロニクス等各種自動化
システムの開発、設計、製作



吉行晶
(株)plusA
中部地区会
流通加工業 手作業、軽作
業請負

会員information

《地区会・社名・住所・TEL・FAX 役職変更》

東彩地区会 たより 藤元天美会員
東部地区会 アウトクラウド(株) 事業部長へ
〒343-0021 埼玉県越谷市大林441-1-101
TEL:048-970-2400
FAX:048-970-2420

《住所・TEL・FAX変更》

さくら地区会 (株)寿建設 若佐桃子会員
〒361-0013 埼玉県行田市真名板2096
TEL:048-577-4047
FAX:048-580-4171

《TEL・FAX変更》

川口地区会 (株)レグリンク 上原秀教会員
TEL:03-6260-8942
FAX:03-6260-8942

《社名・住所変更》

中部地区会 アトリエ3C+U建築設計事務所 岡部千里会員
(株)こみんへ
〒297-0102 千葉県長生郡長南町本台142-1

《住所変更》

浦和地区会 ユナイテッド・インシュアランス(株)
持館秀一郎会員
〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町3-12-6-5F

◆ 訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

むさし野地区会 山口将秀会員のご子息が逝去されました。
浦和地区会 小林政仁男会員が逝去されました。
川越地区会 内山巖敬会員が逝去されました。

会員数

2019年5月7日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	48	大 宮 南	91	北 部	37
戸 田・蕨	53	西 部	44	さ くら	82
浦 和	81	むさし野	128	川 越	86
大 宮 東	42	東 部	129	東 彩	58
大宮中央	39	中 部	50	彩 北	18
		埼 葛	54	計	1040

編集後記

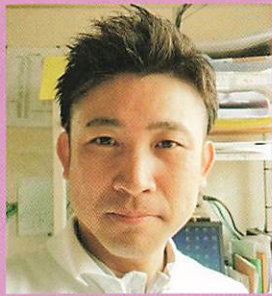
5月1日に新元号「令和」が施行され、平成の時代が終わりました。昭和生まれの私はバブル景気も、リーマンショックも経験しました。正に天国も地獄も経験しました。災害では阪神淡路大震災も東日本大震災も熊本地震も北海道南部地震も関東東北豪雨も西日本豪雨も平成の時代にあった出来事です。地球温暖化の影響と思われる災害の多い時代でしたね。世界の経済環境も激変する中、変革の波に乗り遅れず、常に考え、努力を惜しまず、しっかりと次の時代を作っていきます。いずれにしても新しい時代が平和で夢と希望の溢れる時代になるといいですね。

(戸田・蕨地区会 石井孝徳)

同友会日誌 4月1日~30日

- 1日(月) 合同入社式・新入社員研修会【共同求人委員会・社員教育委員会】~2日(火)
さくら幹事会、東彩幹事会、埼玉葛幹事会
- 2日(火) 川口幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
- 3日(水) 中部幹事会、むさし野幹事会、北部幹事会、浦和幹事会
- 4日(木) 東部幹事会、戸田・蕨幹事会
- 5日(金) 新旧正副代表理事会議
- 8日(月) 障害者雇用推進委員会
- 9日(火) 浦和幹事研修会、大宮東幹事会、川越幹事会
- 10日(水) 共同求人委員会、ファミミーティング・ファミ学習会、広報委員会
- 11日(木) 経営労働委員会
- 12日(金) 仕事づくり委員会、大宮中央幹事会
- 15日(月) 政策問題プロジェクト会議、青年部総会&入部式
- 20日(土) 第46回定時総会
- 22日(月) 彩北幹事会+学習会、むさし野正副会長会議
- 23日(火) 合同企業説明会①、新入会員オリエンテーション、社員教育委員会
- 24日(水) 大宮ブロック会議
- 25日(木) 全研実行委員会
- 26日(金) 第1回理事会

地域との連携、そして社員と仲間のために



谷田 正樹

ただまさき

(有)ノア 専務取締役
むさし野地区会
埼玉県富士見市水谷2-8-9
TEL: 049-255-4551
FAX: 049-254-8886
http://www.c-noah.jp



【仲間想いのガキ大将】

温厚で誰よりも周りを気遣い、時に熱く、頼りになるアニキという印象の谷田氏。

ですが、少年時代は悪ガキだった様で、よく揉め事を起こしていたと言います。

小学校の入学式入場の際、蹴り合いのケンカをしながら体育館に入ってきたという逸話を社長であるお兄さんに伺いました。

とにかく仲間意識が強く、誰かがイジメられていると上級生だろうが仕返しに行き、殴り合いをしていたと言います。

遊ぶ際には常に10人～15人の仲間を引き連れて遊んでいたそうで、今の人を引き付ける才覚はすでにこの頃に開花していたのかもしれない。

【初めての壁、そして同友会へ】

夜学に通っていた大学時代。昼間の時間を利用して営業として、お父様が設立した(有)ノアを手伝った事がクリーニング業との関わりの始まりでした。

卒業後、旅行会社に就職したものの、多忙で子供と過ごす時間が取れずに転職を決めました。その際にクリーニングの仕事をする事にしたものの、「ノアに迷惑を掛けられない」、と自らクリーニング業を立ち上げました。

それが順調に業績を伸ばし続け、売り上げが大きくなってきた事を機にノアと統合、社員として入社、のちに専務となりました。



しかしそこで初めての壁にぶち当たる事になります。

大学時代からのクリーニング経験があり、自ら起業し実績も作った自信があったものの、社内では新参者扱いで社内の皆からの協力が得られず、想いが伝わらない状態が続きました。

どうしてだろうと2年程悩んだ時、会社としての目標やスローガンがないからではないかと気づきます。

そこで協会の社長の社長に社内の現状、悩みを相談した所、「ちょうど良い会があるよ!」と言われ、学びに飢えていた谷田氏はまさに一本釣り状態で同友会入会を決めます。

そして「経営理念」という言葉と出会い、経営指針づくりセミナーを受講。念願だった経営の羅針盤を手に入れる事が出来ました。

【当たり前だった障がい者雇用】

入会后、『障がい者雇用やってるんだって?』、と言われた事があったそうですが、その言葉にとっても違和感を覚えたと言います。

障がい者の方と一緒に働く環境があまりにも当たり前になっていた谷田氏にとって、その言葉は「健常者雇用やってるんだって?」と同じくらいの違和感があったそうです。



【理念の達成、そして共同求人へ】

以前、先輩経営者に教わった、「理念の浸透とは、たらいの水を楊枝で回す様もの」という言葉。「理念達成のために折れてる暇はない、まだやりきっていない」、という強い意志で様々な取り組みを続けた結果、最近になってようやく水流が出来始めた気がすると言います。

そして採用を通して社員さんに変化が生じ、会社が良くなったという経験から、今後は新卒採用にも取り組んでいきたいと言います。

【たくさんの笑顔のために】

同友会に入り、利益を出す事の大切さ、そして同じ利益を出すにしてもその中身が重要だという事を学んだと話していました。

今後の展開を何うと、関わる全ての人が笑顔になる様々なアイデアを持ち、一步一步着実に実行している様でした。

その夢を語る眼差しはどこか無邪気で、仲間想いの谷田少年の面影を垣間見る事が出来ました。
(むさし野地区会 高橋友樹 記)



埼玉同友会 広報委員

- | | | | | | | |
|--------------|----------------------------|-------------|--------------|-------------|-------------|---------------|
| 委員長
鈴木一朗 | 委員
川口 坂本武蔵
戸田 藤 石井孝徳 | 大宮東
安形智昭 | 西 部
印牧政彦 | 島袋輝仁 | さくら 池田恵津子 | 制作担当 |
| 副委員長
小田 明 | 大宮中央
木村亮介 | 柴田大智 | むさし野
水野美和 | 中部
矢澤敦臣 | 東 彩 斎藤寿和 | 柳込博久 |
| 中山晴喜 | 大宮南
加藤早苗 | 鈴木光義 | 山口将秀 | 埼玉
原田泰信 | 彩 北 折原昌司 | 印刷・製本
加藤早苗 |
| 酒井 啓 | 三友哲哉 | 佐藤正幸 | 藤元天美 | 東 部
宇野碧留 | 東 部
松本賢二 | 事務局
古川佳子 |
| | | | | 北部
東 誠章 | 早川良史 | |
| | | | | 荻原 武 | | |